

輪

症例検討会のご案内

北九州市立医療センターでは、地域の医療従事者の方々と一緒に医療技術向上のため、下記のとおり症例検討会を実施しています。

症例検討会名・開催日	時間・場所
■乳腺テクニカルカンファレンス 毎月 第2・4月曜日開催	時間：18時～19時30分 場所：別館6階 講堂
乳腺外科・放射線科・病理診断科の医師、放射線技師、臨床検査技師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■呼吸器カンファレンス 毎週 火曜日開催	時間：17時～18時 場所：別館6階 講堂
呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■消化器カンファレンス 隔月 第3木曜日開催	時間：18時～19時30分 場所：別館6階 講堂
消化器内科・消化器外科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	
■周産期症例検討会 奇数月 第3水曜日開催	時間：19時～20時30分 場所：別館6階 講堂
産婦人科・小児科・小児外科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	

※日程は都合により変更・中止になる場合がございます。事前に医療連携室へご確認の上、ご参加いただければ幸いです。
検討ご希望の症例がございましたらぜひご参加ください。皆さまの多数のご参加をお待ちしております。

*事前の申し込みは必要ありません。(医療連携室 TEL：093-533-8660〈直通〉)

地域医療従事者研修会のご案内

日程	テーマ	講師
令和2年 1月23日(木)	「膠原病について」	内科主任部長 西坂 浩明
2月27日(木)	「心不全の治療と看護」	循環器内科主任部長 沼口 宏太郎 集中ケア認定看護師 野中 麻沙美
3月12日(木)	「がん患者の疼痛管理」	PCTチーム 麻酔科部長 神代 正臣 がん性疼痛看護認定看護師 太郎良 純香

▶場 所：北九州市立医療センター 別館6階講堂
▶時 間：18時30分～(1時間～1時間30分程度)

*事前の申し込みは必要ありません。
【問い合わせ先】医療連携室 TEL.093-533-8660(直通)

市民公開講座のご案内

日 時 2月8日(土)	参加費無料
テーマ 心療内科で行っている 心理療法	
診療科 心療内科	
日 時 3月21日(土)	
診療科 産婦人科・乳腺外科	
場所／北九州市立商工貿易会館 2階多目的ホール 受付開始：13時30分～ 講 演：14時～16時	
【問い合わせ先】事務局 管理課 TEL.093-541-1831(内線3105)	

*事前の申し込みは必要ありません。

輪



北九州市立医療センターニュース「輪」
第76号 2020年1月24日発行

<基本理念>

わたしたちは公共的使命を自覚し
心のこもった最高最良の医療を提供します

編集長：尼田 覚

© 2020 北九州市立医療センター /
本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為は
ご遠慮ください。

編集後記 御代替りとともに当院も体制が替わり最初のお正月を迎えました。いろいろ新しいことを始めています。一つひとつを充実させるためには少し時間が必要かもしれません。しかしながらロボット手術の導入は目を見張るものがあります。3か月前に購入した時には不安しなかったのが、今では何年もやっているような腕前で症例数も鰻登りです。若い外科系医師にとって魅力あるものになることを確信いたしました。政治、世界情勢、気候と不安な世の中ではありますが、今年はオリンピックイヤーですので少しでも夢のある楽しい情報を発信してまいります。今年もよろしくお願いいたします。(尼田)

〒802-8561 北九州市小倉北区馬借2丁目1番1号 北九州市立医療センター
TEL.093-541-1831(代表) FAX.093-533-8693
<https://www.kitakyu-cho.jp/center/>

広報委員会「輪」編集委員

尼田 覚 重松宏尚 小園真吾 大津博恵 杉本優子 森崎恵美子
高見将彦 小野達也 木村祥子 佐藤美登里 天野健司 高木良輔



HP：QRコード



FB：QRコード



地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立医療センター

CONTENTS

- 01 2020年 新年に寄せて
- 02 スポットライト／手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入しました
- 03 トピックス／患者満足度調査(外来)の結果について
- 04 院内紹介／第9回院内業務改善活動報告会
- 05 認定看護師による出前講演のご案内
- 06 トピックス／大規模災害等対応訓練を実施しました
- 07 患者支援センターのご案内
- 08 看護の広場／外来化学療法センター
- 09 登録医のご紹介
- 10 医療連携室だより

INFORMATION

- 症例検討会のご案内
- 地域医療従事者研修会のご案内
- 市民公開講座のご案内



〔表紙写真について〕
da Vinci手術中。手術室の隅でコンソールの中を覗き込んでいるのが執刀医です。3Dのおなかの中で両手、両足を使い手術しています。



2020年 新年に寄せて

地方独立行政法人 北九州市立病院機構
理事長 中西 洋一

明けましておめでとうございます。
皆さま、新しい気持ちで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
振り返りますと、去年もさまざまなことがありました。清新なニュースとしては令和の時代の始まり、嬉しいニュースではラグビー・野球・ゴルフ・テニス等多くのスポーツ分野での日本人の活躍、残念なニュースではたび重なる台風、大雨被害等々でしょうか。
そんな中、北九州市立医療センターにとって最も大きな出来事は、昨年4月に独立行政法人として新しい一歩を歩み始めたことです。北九州市から独立して、市立医療センター、市立八幡病院、市立看護専門学校が一つの組織（北九州市立病院機構）として新しい一歩を歩み始めました。

独立行政法人となったことで何が変わったのでしょうか？
一言で申しますと、「自由」を手に入れた一方で、大きな「責任」を負うことになりました。手にした自由でやることは、「より良い医療を提供すること」に尽きます。新たに導入した手術支援ロボット「ダヴィンチ」もその一例です。いくつかの疾患領域では、より安全でより効果的な手術が可能になります。これを契機に卓越した手腕を持つ医師の参画も期待しています。加えて、医療センターが担うべき医療—感染症、周産期医療とがん医療のさらなる向上を目指します。

一方で、責任という意味では経営の立て直しが重要な課題です。医療センターも本館新築から29年が経とうとしています。近い将来の新築のためには経営改善が必須の要件です。病院を挙げて経営改善に取り組み始めました。

独立行政法人化を契機に、これまで以上に皆さまの目線に立っての医療を提供したいと考えています。広報活動にもこれまで以上に力を注ぎたいと思います。市民の皆さまからのご意見、ご批判、ご要望をお寄せください。真摯に耳を傾けながら、信頼され、愛され、市民の皆さまとともに歩む病院になるよう、職員一同努力したいと思います。



手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入しました



▶手術の実施状況

当院では「ダヴィンチ」導入以降、2ヶ月ほどの準備期間を経て、11月に初症例を実施しました。現在、泌尿器科（前立腺がん）で3件、外科（胃がん・直腸がん）で7件、合計11件手術を実施しています。今後診療科・症例を順次拡大する予定です。

医師からのメッセージ



外科 部長
赤川 進

2019年12月2日よりロボット支援下胃切除術を開始しました。
多関節機能、手ぶれ防止機構などのロボットの特徴を生かすことで、従来の手術方法よりさらに精緻な手術が行えるようになりました。
胃がん手術における腓上縁リンパ節郭清のシーンでは、腓とリンパ節との間を適切な角度で手ぶれなく切離・剥離することが可能であるため、熱損傷などが原因で発症する腓液瘻のリスク低減につながるものと考えます。
また、食道がん手術における反回神経周囲リンパ節郭清も同様に、牽引や熱損傷などが原因で発症する反回神経麻痺のリスク低減に繋がるものと考えます。
ロボット支援下手術により、手術が必要な患者さんが、安全かつ低侵襲な治療を受けられる時代となりました。これからも合併症低減のため努力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



泌尿器科 部長
大坪 智志

ロボット支援手術は泌尿器科分野を中心に急速に広がっており、前立腺全摘除術（前立腺がん）、腎部分切除術（腎がん）、膀胱全摘術+尿路変向術（膀胱がん）で保険適応となっております。拡大視野での緻密な操作や縫合を得意としており、特に狭い骨盤腔での操作性は従来の腹腔鏡手術と比較し飛躍的に向上しています。
前立腺全摘においては尿道括約筋や男性機能に関連した神経・血管をより正確に温存できるようになり、術後の尿失禁や男性機能の保持・回復が早い傾向にあります。腎部分切除術ではより正確な腫瘍切除と縫合で止血が可能となったことから阻血時間が短縮し、術後腎機能の温存に寄与しています。泌尿器科分野ではロボット支援手術は当たり前前の時代となっております。
今後も手術技能の向上に努め、より安全・安心な医療を心掛けていきますので、よろしくお願いいたします。

▶市民特別公開講座を開催しました！

2019年12月14日（土）に、市民特別公開講座を開催し、約90名の方にご参加いただきました。
講演会では、北九州市立病院機構理事長の中西洋一が、最新のがん医療について、また、「ダヴィンチ」を泌尿器科部長の大坪医師よりご説明させていただきました。講演会の後には、事前抽選の10名の方に「ダヴィンチ」を実際に操作していただく体験会も実施しました。



患者満足度調査(外来)の結果について

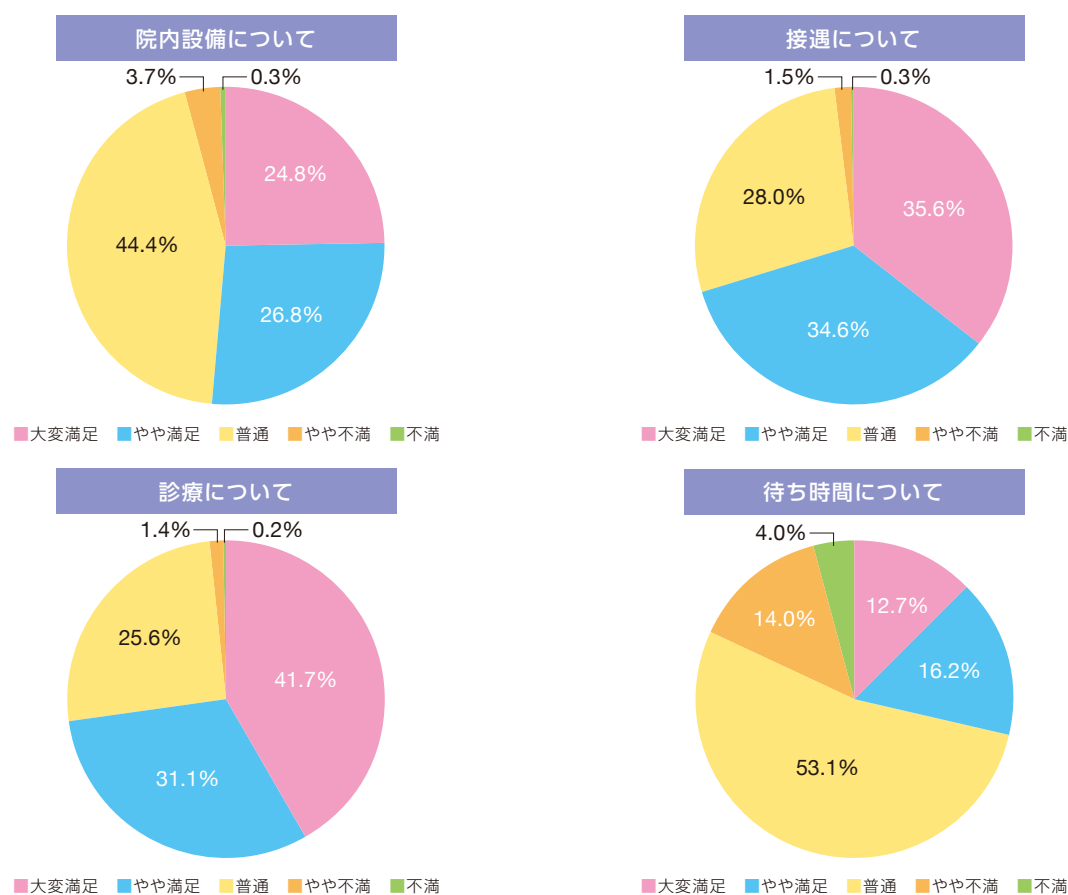
TOPICS
トピックス

患者さんの意見・要望を把握し、医療サービスの向上など今後の病院づくりに役立てるため、外来受診された患者さんにご協力いただき、満足度のアンケート調査を実施いたしましたので、その集計結果についてご報告いたします。

■アンケート実施概要

- (1)実施時期 2019年10月7日(月)～11日(金)
- (2)調査対象 実施時期に来院された初診・再診外来患者さん 300人
- (3)調査概要 院内設備、接遇、診療、待ち時間について31項目を5段階評価
(大変満足5点、やや満足4点、普通3点、やや不満2点、不満1点)で無記名アンケートを実施
- (4)回答数 285件(回収率95.0%)
- (5)総合評価点数 初診：77.9点(昨年比+2.1点) 再診：78.7点(昨年比+4.6点)

集計結果(初診、再診の各項目のポイント合計から評価ごとに按分したもの)



調査結果を踏まえて

昨年度に引き続き、接遇や診療の満足度について、約7割の患者さんから「大変満足」、「やや満足」と高い評価をいただきましたが、待ち時間については、患者さんの満足度が低く改善が必要であるといった調査結果となりました。

接遇については、「以前と比較して格段に良くなった」との個別意見を複数いただくなど、「患者さんを第一に考える」という職員の意識改革が進んだ結果がこの高い評価に繋がったものと考えております。

待ち時間については、これまでもさまざまな取り組みを行い、短縮に向けて改善を図ってきたところであり、今年度は採血等を行う中央処置室の混雑解消について重点的に取り組みました。また、外来患者さんが多く、それに比例して待ち時間が長くなるという当院の長年の課題を解決するため、引き続き、病院全体で逆紹介の推進に取り組んでいます。

外来委員会では、今後もこのアンケート調査の結果や日頃からの患者さんのご意見を踏まえ、患者さん視点で課題を見つめ、地域の医療機関の皆さまが当院に安心して患者さんを紹介することができるよう、医療サービス向上に努めてまいります。

最後になりましたが、ご協力いただきました皆さま方に心からお礼申し上げます。

外来委員会委員長 大野 裕樹



院内紹介



業務改善活動推進委員会
委員長 林 和子

第9回院内業務改善活動報告会

2019年12月13日(金)、「院内業務改善活動報告会」を開催しました。安全で質の高い医療の提供を目指し、業務改善活動を推進するため、2011年から開催しています。

今回は7演題の発表がありました。多職種が参集し、活発な質疑応答・意見交換を行いながら発表が進みました。安全確保のための業務改善と効率化を図ったもの、当院としての役割のもとで専門性を発揮して患者指導・サービスの充実を図ったものなど、熱心な取り組みの発表があり、「他部門の取り組みが聞くことができ、参考になった。自部署にも取り入れたい」などの感想が聞かれました。

今回の最優秀賞には、医療安全プロジェクト 呼吸ケアチーム『酸素療法安全管理ラウンドにおける現状と課題』、優秀賞には診療支援部 薬剤課『薬剤師外来開設～がん薬物療法の安全性と有効性の向上を目指して～』が選ばれました。惜しくも賞をとることはできなかった部署からも、「発表することで、達成感を実感した」との声がありました。

今後も継続的な業務改善を推進し、職員の意欲向上や病院の活性化にも繋げていきたいと思います。



業務改善報告会



表彰(最優秀賞)



表彰(優秀賞)



発表



公表

■発表演題

	演題	所属		演題	所属
1	申し送り板廃止に向けての取り組み	看護部 7階南病棟	5	シミュレーションを通しての超緊急帝王切開術の対応の見直し	看護部 手術室
2	4階北西2病棟の病棟再編成による取り組み	看護部 4階北西2病棟	6	子宮収縮抑制薬の投与方法変更について	看護部 8階南病棟
3	【優秀賞】薬剤師外来開設 ～がん薬物療法の安全性と有効性の向上を目指して～	診療支援部 薬剤課	7	病棟クラーク配置による病棟看護チームの変化	看護部 7階北病棟
4	【最優秀賞】 酸素療法安全管理ラウンドにおける現状と課題	医療安全プロジェクト 呼吸ケアチーム			

日本看護協会では看護現場でのケアの質を向上することを目的に、特定の看護分野において熟練した看護技術を用いて水準の高い看護実践のできる認定看護師の育成を行っています。当院では2020年1月現在、12分野22名の認定看護師が活動しています。現在、集合研修に参加しづらい医療・介護に携わる方を対象に認定看護師が地域に出向いて行う「出前講演」を実施しています。お気軽にお申し込みください。

- 対象者 北九州地域の医療・介護従事者
(※北九州市外については要相談)
- 参加人数 5名以上のグループ・団体
- 開催日時 平日1～2時間程度
(祝日・休日、年末年始を除く ※日時については要相談)
- 講師料 無料
- 交通費 不要
- お申込み方法 1. 出前講演メニューからご希望する講演を選択してください。
(メニューにない内容をご希望の場合は、ご相談ください)
2. 出前講演の実施日2ヵ月前までに電話でご連絡ください。
3. 担当講師と日程を調整し代表者にご連絡します。



感染管理認定看護師による出前講演

出前講演メニュー

MENU	認定分野	研修・講義内容
	1. がん性疼痛看護	①がん性疼痛のアセスメントと薬物療法の基礎知識、②悲嘆・死後のケア
	2. 緩和ケア	①鎮痛剤の使い方・疼痛マネジメント、②痛み以外の症状マネジメント
	3. がん化学療法看護	①抗がん剤の副作用、②CVポートの管理について
	4. 乳がん看護	①治療中の生活支援(自壊創やリンパ浮腫のケア)、②乳がん自己検診
	5. 皮膚・排泄ケア	①褥瘡予防のためのポジショニング、局所ケア、②脆弱な皮膚のスキンケア
	6. 感染管理	感染経路別予防策・疾患の理解(インフルエンザ、ノロウイルスなど)
	7. 集中ケア	①人工呼吸ケア、フィジカルアセスメント、②呼吸リハビリテーション、③急変対応
	8. 新生児集中ケア	①新生児看護(哺乳・あやし方・睡眠など)、②急変時の蘇生法について
	9. 手術看護	周術期看護について
	10. がん放射線療法看護	放射線療法の有害事象のケア(部位・疾患・病期別、皮膚炎・粘膜炎症など)
	11. 摂食・嚥下看護	①摂食・嚥下障害(加齢と誤嚥性肺炎)、②病態から見える摂食嚥下障害
	12. 認知症看護	①認知症タイプ別の基本的なケア(コミュニケーションなど)、②認知症とせん妄の違い

●問い合わせ先：北九州市立医療センター TEL.093-541-1831 看護管理室／上田副看護部長(認定看護師担当)

◎救急・災害医療委員会

大規模災害等対応訓練を実施しました

TOPICS
トピックス

当院は1991年に災害拠点病院として福岡県の指定を受けており、地震、津波、水害、生物化学テロなどの大規模災害時には、市民の安全確保に協力する義務があります。

昨年度は、地震災害を想定した業務継続計画(BCP)を策定し、それに基づく訓練(実働)等を初めて実施しました。

さらに今年度は、昨年度策定したBCPを基に、昨年度の反省点等を踏まえた研修会や訓練を重ね、2019年12月7日(土)に2回目となる大規模災害等対応訓練(実働)を実施しました。訓練当日は、北九州市で震度6強の地震が発生し、けが人が多数発生したという想定の下、小倉北消防署救急隊・市立看護専門学校のご協力を得て、職員約160人が参集し、各エリア(トリアージ、赤、黄、緑、黒、搬送、本部)の立ち上げ、エリア間および本部間の連携、北九州市災害対策本部・DMOCなど外部組織との連携、多数の患者さんを受け入れる手順等を訓練の中で確認しました。

今回の訓練は、想定患者30人と、昨年度より患者さんを10人増やした形での訓練でしたが、研修会や訓練の成果もあり、大きく混乱することもなく、また、患者の入院や転院搬送、他院DMAT隊の受援、エリアや本部間の連携などについて確認することができ、訓練の重要性と成果を感じることができました。

今回の訓練の反省会では、各エリアからさまざまな意見が出され、必要な物品やマニュアルの不足、その他人員配置の見直しの必要性や役割分担の見直し等、病院としてもさまざまな課題を見つけることができました。

近年、日本海付近でも地震が多発しており、高い確立で南海トラフ地震が起こると予想され、まさにこの北九州地域も小倉東断層が縦断しており、いつ大地震が起こることも限りません。当院はこのような災害の発生時に災害拠点病院としての使命を果たすため、常日頃から訓練等するなどによって、クリニックさまや病院さまからの患者さんの受け入れ能力を高めていきます。今後とも皆さまのご支援・ご協力をお願いします。



▲災害対策本部



▲救急隊との連携訓練

患者支援センターのご案内



地域医療連携推進担当係長
播磨 由美

地域包括システムは、従来の「病院完結型」の医療から、「地域完結型」の医療へと、かじを切りました。「地域完結型」の医療を実現するためには、医療機関による退院支援や地域との連携強化の取り組みが必要となります。急性期の病院から退院後も疾病や障害を抱えながら、住み慣れた地域で安心して過ごしていくためには、丁寧なコミュニケーションおよび生活者である患者という視点をもった情報収集とアセスメントをすることが不可欠です。

当院では2019年10月より、「患者サービスの向上」「安全性の向上」を目的に患者支援センターを設置しました。患者支援センターの機能は予約入院患者さんやご家族の方を対象に、入院前から身体的、精神的、社会的な背景も含め患者さんのニーズを把握し、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、歯科など職種介入による入退院支援です。

患者支援センターでは入院生活について説明を行い、患者さんやご家族の方に入院生活についての理解を深めてい

ただきます。そして入院に必要な患者さんの情報を患者支援センター看護師が聞き取り、スクリーニング、療養計画立案を行い病棟へ情報を共有し早期退院支援に繋がっています。

また介護や訪問看護サービス等を利用の患者さんに対しては担当のケアマネジャーや相談員へ連携し在宅での生活状況、サービス内容等の情報をいただき、病棟看護師へ情報共有し、切れ目なく医療・看護・介護を繋ぎ、退院後の生活も含め安心して医療を受けていただけるよう支援を行っています。

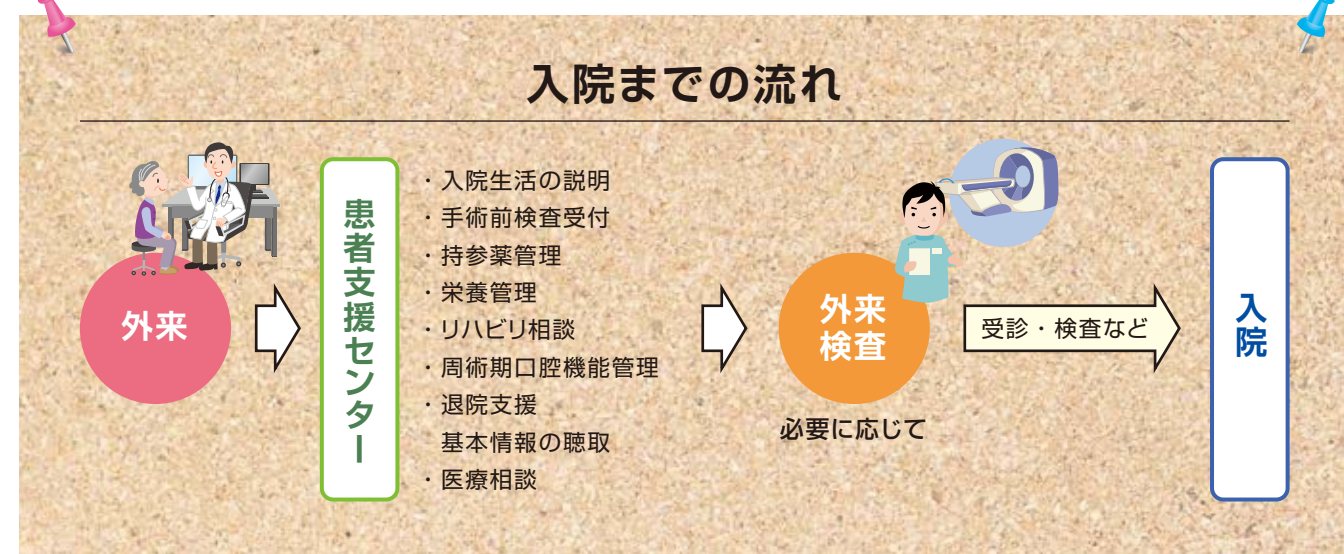


患者支援センター入口



患者支援センター内部

入院までの流れ



看護の広場

外来化学療法センター

心をこめて患者さんの治療をサポートする 外来化学療法センター



看護師長 松嶋 久美子

外来化学療法センターは2008年7月に開設され、今年度11周年を迎えました。開設当初はベッド数20床でしたが2012年23床、2014年26床と増床し、年々治療件数は増加傾向にあり、現在は28床(ベッド数22床、リクライニングチェア6床)で年間10,000件あまりの抗がん薬治療、生物学的製剤の治療を行っています。

2019年7月よりがんゲノム外来を開設し、10月から院外の患者さんを受け入れ、がん化学療法看護認定看護師もサポートしています。

外来化学療法センターでは腫瘍内科医2名が常駐しており、看護師11名(看護師長1名、副看護師長2名[1名はがん化学療法看護認定看護師:専任]、看護師8名)で、緊急時の対応など安全に化学療法が行える体制をとっています。

外来化学療法の目的は、患者さんのQOLを維持し、安全で確実な抗がん薬治療を提供することです。外来での治療は、抗がん薬の副作用をコントロールしながら、患者さんのライフスタイルに合わせた日常生活を送ることができ、長く治療を続けられることが大切です。看護師は治療中の点滴管理や副作用の観察はもちろんのこと、自宅に帰ってからの化学療法の副作用について、生活指導、緊急時の対応の方法など細やかに説明を行っています。

また緊張や不安を抱えている患者さんに対しては医師、看護師、および必要に応じて緩和ケア認定看護師が協力しながら少しでも不安なく治療が受けられるよう患者さんに寄り添い、声かけや環境づくりなど心掛けています。さらに化学療法の副作用、不安に関する電話相談はいつでも受けています。

これからも、患者さんが安心して長く外来化学療法が続けられるように、私たち看護師は専門的な知識・技術の向上、患者教育の充実、多職種との連携、在宅・就労支援などを行いながら患者さんやご家族に心のこもった看護を提供していきたいと思っています。



輪を心掛けて



外来化学療法センタースタッフ



外来化学療法センター内部



外来化学療法センター11周年

Registered physician Information



登録医のご紹介

Clinic
1

きたやま乳腺クリニック

INFORMATION

所在地：小倉南区北方2丁目10-10 院長：北山 輝彦
TEL：093-923-1515 診療科目：乳腺科
FAX：093-923-1517



院長
北山 輝彦



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	※	×
14:00~18:00	○	○	×	○	○		×

※土曜日は9:00~15:00となります。■休診日/日曜・祝日・年末年始・お盆・GW



アピールポイント

乳腺専門クリニックです。働く女性にも受診いただけるよう、土曜日は15:00まで診療しています。女性目線でのクリニック構成を重視し、授乳室、女性専用エリア、パウダールームを完備し、スタッフはすべて女性が対応いたします。

市立医療センターへの一言

乳がんと言えば北九州市立医療センターというくらいその知名度は抜群ですが、乳がんを担当される先生方とのface to faceの連携を心掛けています。地域密着のクリニックの特性を生かした診療を目指します。

Clinic
2

徳力小野医院

INFORMATION

所在地：小倉南区徳力新町2丁目13-26 院長：小野 研治
TEL：093-963-8844 診療科目：麻酔科(ペインクリニック)、内科、リハビリテーション科



院長
小野 研治



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:30	○	○	○	○	○	○	×
14:00~18:00	○	×	○	○	○	×	×

※木曜日午後は15:00~18:00、金曜日午後は16:00~18:00まで



アピールポイント

帯状疱疹(2,000症例以上)、脊柱管狭窄症、線維筋痛症、五十肩、三叉神経痛などの慢性難治性の痛み、神経障害性疼痛に対しブロック治療、点滴治療、リハビリ治療を行っています。

市立医療センターへの一言

1998年に市立医療センターを退職し、麻酔科(ペインクリニック)、内科を開業して22年目となりました。この間、患者様の急変時、また重症患者様の入院など、本当にお世話になっております。



明けましておめでとうございます



新たな年を迎え、皆さま方におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、去年は当院の医療連携におきまして、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

医療連携室では、初診紹介患者さんの予約受付業務を18:30まで行っております。翌日の予約もご予約可能ですのでどうぞご利用ください。

また、2014年2月より運用開始しております「連携ネット北九州」も2020年1月現在、136施設の医療機関に導入いただき画像検査依頼をお受けするとともにカルテ内の処方や退院時サマリー、検査所見レポート、放射線画像の閲覧などの公開を行い、ひと月平均90件ほどの依頼をお受けしております。「連携ネット北九州」の導入に関してご質問等ございましたらいつでも医療連携室までご連絡ください。

2020年も引き続き地域の医療機関や在宅部門の方々との連携強化に力を入たいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携推進担当係長 佐藤 美登里

～医療連携室からのお知らせ～

●初診患者予約受付時間

土日祝日を除く 8:30~18:30

●登録医募集

登録医の登録募集を行っていますので、ご希望の方は下記のURLから「登録医申請書」に必要事項を記載の上、お申込みいただきますようお願い申し上げます。詳しくは、ホームページをご覧ください。

▶<https://www.kitakyu-cho.jp/center/for-patient/iryorenkei/torokui.html>

●連携ネット北九州について

■診療情報の閲覧が可能

◇画像・レポート

CT、MRI、RI、X線撮影、骨密度、マンモグラフィ、内視鏡、腹部エコー、体表エコー、頸部血管エコー

◇血液、生化学検査、処方箋(服薬・注射)、病理診断、細胞診断

◇退院時要約、中間要約、看護要約、患者情報シート、リハビリ要約

※閲覧対象は2017年6月以降に作成したものです。

■画像検査予約が可能

◇CT、MRI、RI、X線撮影、骨密度、マンモグラフィ、腹部エコー、体表エコー、頸部血管エコー

▶<https://www.kitakyu-cho.jp/center/for-patient/iryorenkei/renkei-net.html>

本年も医療連携室をよろしくお願いいたします。

【医療連携室】

TEL 093-533-8660(直通) FAX 093-533-8718 E-mail: byou-iryu-renkei@kitakyu-cho.jp ※患者さんのご紹介は、E-mailでは受付けておりません。

医療連携室だより

医療連携を基本に業務内容の充実を図り、地域医療機関、患者さん、職員から安心して頼りにされるよう取り組んでいます。